

第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

菊池市立泗水中学校 教諭 石丸美穂子

| | | | |
|----------|--|--|---|
| 単元名 | 暮らしの中のSDGs | | |
| 単元の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・町づくりや地域活性化の取組に関わる職場の人々との交流を通して、SDGsの視点を持って生活することの必要性について理解し、自ら考えた取り組みについて情報発信することができる。(知識・技能) ・職場で学んだことから自分たちの生活との関りを考え、持続可能な社会の実現にむけて何ができるかを考え、どのような情報発信や行動をしていくか工夫することができる。(思考・判断・表現) ・進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに、積極的に地域の活動に参加しようとする。(主体的に学習に取り組む態度) | | |
| 評価 規準 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | ①職場体験が、SDGs とどのようなつながりがあるか理解している。 ②地域と自分との関りから課題を見つけ、よりよい生き方に向けた情報収集やまとめ方、表現方法を身につけている。 | ①職場体験や地域のSDGsの取り組みに込められた思いに気づき、そこからよりよい生活について考えを深めている。 ②自分と地域との関りを意識しながら、どうすれば地域に貢献できるか具体的な行動を工夫している。 | ①職場体験を通して、地域の良さや課題についてなかと協力して考えている。 ②地域の一員として地域貢献への意欲を高めている。 |
| 教材観 | 本単元では、職場体験活動そのものや、職場でのSDGsについて学び、自分たちの生活との関りに気づくことで、自ら貢献できる活動にはどんなことがあるか考えを深めていくものである。職場体験の意義や職場の方からの聞き取り・調べ学習を通して、どのような考えや思いがあるかを知ること、地域への感謝や愛着、そこに生きる一人としての実感を得ることができる。また、自ら考えることで地域貢献を自分事としてとらえ、3年時での実際の活動に向けた課題設定に繋がっていく。 | | |
| 生徒観 | これまで葦北での集団宿泊教室や水俣病差別問題学習などを通して、自然と人との関わりを考えたり、県内のSDGsのワークショップを実施する団体の活動に参加したりしてエコ活動についての考えを深めてきた。しかし、地域の中でどのようなことが行われているか、どのような課題があるかについてはほとんどの生徒が知らず、関心も薄い。そこで、職場体験学習を通して自らの地域について知るところから、どのような地域貢献活動が可能かを考え、提案したり情報発信をしたりしていくことで自分と地域とのつながりを実感させていきたい。 | | |
| 指導観 | 職場体験学習を「働く体験をする」ととどめず、「働く意義」とともに「地域・人にどのような影響を与えているのか」に注目させ、事前指導・体験活動中・事後指導で、SDGsの視点をもって活動に臨めるようにする。事前指導では項目8「働きがいも経済成長も」、17「住み続けられる街づくりを」の目標について理解を図り、自分が活動する職場では他にどの項目があてはまりそうかを予測させておく。また、事前に事業所へも視点を報告し、円滑 | | |

| | |
|--|--|
| | <p>に活動ができるようにする。体験活動中には、項目を元に気づきをまとめ、インタビューを通してどのような思いで働いているのかという点に気づかせ、職場体験の振り返りを行えるようにする。事後は各自の学びをどのように表現したらよいか、いくつか選択肢を紹介して多様な表現方法ができるようにする。また、自分たちが協力できる活動について考えさせることで、地域の一員である実感と地域の中で生きることへの自己有用感につながるようにする。また、活動の最後には3年時にどのようなことをしたいか課題設定を行わせることで、見通しを持った学習になるようにする。</p> |
| ESDの視点 | <p>多様性：異なる立場の人が協力して仕事を進めていることに気づくこと。 有限性：資源・時間・人手などに限りがある中で工夫して働く姿を見ること。 責任性：自分の担当した仕事に責任をもって取り組む経験をする事。 手に入れたものを大切に使ったり、製造過程や使用後の処分方法などを考えたりしていくこと。 未来性：働くことが自分の将来の生き方とどのようにつながるか考えること。</p> |
| ESDで育てたい資質・能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・批判的に考える力 持続可能性（環境・経済・社会）とのつながりはどこにあるのかを考えたり、実際の現場を見て得た情報と、事前に調べた知識を比較し、違いを見つけて考えたりすることができる。 ・未来を予測して計画を立てる力 職場体験で得た気づきから「地域の未来」と「自分の将来」を重ねて考え、今の自分にできることやこれから取り組んでいきたいことを計画することができる。 ・コミュニケーションを行う力 課題解決やよりよい選択のために、様々な立場の人とコミュニケーションをとり、多様な見方や考え方を得ることができる。 |
| 達成が期待できる SDG s | |
| 8. 働きがいも経済成長も 11. 住み続けられるまちづくり 12. つくる責任 つかう責任 ※職場によって項目が増える場合がある | |
| ESDで育てたい価値観 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境、生態系の保全を重視する。 人が生きることによって影響を与える自然に対し、搾取するだけでなく、共生を目指した生き方を考えることができる。 ・世代間の公正を重要視できる 伝統産業の継承、地産地消、地域貢献活動について自分にできることを考え、未来へつなごうとする。 ・幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。 自分で考え、行動したことが自然環境や誰かのためになるということに喜びを感じる。 |

| 指導計画 | 全 1 8 時間 | | |
|----------------|---|--|---------------------------------|
| 過程 (時間) | 学習活動 | 学習への支援 | 評価 |
| 1. であう(1) | <p>○1年時での集団宿泊教室を振り返り自然と人との関わりについて考えたことや、職業講話や調べ学習での学びを振り返り、2年時では職場体験を通して地域の職場が自然や人にどのような影響を与えているかについて学べることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水俣の海について学び、エコ活動を体験したな。 ・美術館の仕事について学び、エコ活動では新しい取り組みを提案したな。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1年時で作成したレポートや、講和後の感想などを振り返り、働くことの意義や自然や人に与える影響についてさらに学びを深めていくイメージを持たせる。 | 主 ② |
| 2. 見つめる (8) | <p>○職場体験とSDGsの関わりについて知る。また、活動する事業所ではどのような項目があてはまりそうか、予測する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店ではフードロスの取り組みがありそうだ。 ・ホームセンターは地域密着型の取り組みやリサイクル活動、植樹活動…たくさんあるな。菊池市のお店ではどうだろう？ | <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験に関連した項目に絞って目標について学ばせることで、職場と項目との関連性に具体的なイメージと興味・関心を持たせる。 | 知 ① |
| | <p>○職場でのコミュニケーションの取り方や、事前打ち合わせのアポイントメントの取り方について学び、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や身なり、報告・相談が大切だ。言葉遣いにも気をつけていこう。 <p>○職場体験でのSDGsの視点と予測したことや、疑問や知りたいことなどをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くのは楽しそう。でも自分にもできるのか？働く意義とは実際にはどういうことだろう。 ・どうしてこんな取り組みをしているのかな？職場の人の考えを聞こう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職場でのマナーやルールを大切にしようという意識を高めていく。 ・自分の行動が役に立つこともあれば、逆もあることを押さえておく。 ・予測と実際の振り返りでは、単なる感想ではなく、働く意義やどのような思いで取り組んでいるのか職場の人の「考えや思い」を意識させる。 | 知 ② 思 ① 主 ① |
| 3. 広げる (8) | <p>○職場体験で働くことについて学習したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き肉店では、牛を大切に育てて提供していた。自分たちの体験と職場の方の思いについてスライドで紹介したい。 ・給食センターでは、地産地消と私たちの健康を考えてあった。模造紙にまとめて掲示しよう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・表現方法について、どのような方法があるか複数紹介し、相手や目的にあった多様な表現ができるようにする。 ・各班の中間発表を行い、学びの共有を図り、意見交換を | 知 ① ② 思 ② 主 ② |

| | | | |
|----------------|---|--|--------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設では利用者の方が生き生きと過ごせるように、たくさんの工夫がされていた。スライドにまとめて紹介しよう。 | <p>することで新たな気づきや問などを出させ。思考を深めていく。</p> | |
| 4. つなげる (1) | <ul style="list-style-type: none"> ○地域で働く人たちの考えや思いを受け止め、これからの生き方について考える。 ・3年生では、職場体験でお世話になった事業所の方へ、自分たちのできることを提案してさらに良い取り組みにしていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3年時での地域探求では地域貢献をメインとしていることを伝え、見通しを持たせる。 | 主 ② |